

## 終戦直後の〈カストリ雑誌〉の総合的研究

研究年度・期間：平成18年度

研究ディレクター：山 縣 熙  
(文芸学科 教授)

共同研究者：松井 桂三  
(デザイン学科 教授)

藪 亨  
(教養課程 教授)

田中 敏雄  
(教養課程 教授)

豊原 正智  
(芸術計画学科 教授)

井関 和代  
(工芸学科 教授)

月溪 恒子  
(音楽学科 教授)

出口 逸平  
(文芸学科 助教授)

第二次大戦後の飢えと混乱の時代には、「カストリ雑誌」と称された大衆娯楽雑誌が、出版の自由に乘じて巷に約千種類も出現し、大衆文化の新しい領域を開いている。これらの雑誌の特徴のひとつは、直接に性風俗を取り扱っているところにあり、著名なそしてまた後によく知られることになる文芸作家や挿絵画家も性風俗をモチーフにした本文や挿絵・漫画をしばしば掲載している。本研究は、こうした「カストリ雑誌」を、文芸、美術、デザイン、工芸、建築、映画、音楽などの多角的な視座から個別的に、また社会文化史的に調査研究するとともに、その芸術文化史的な意味を理論・批評・歴史等の視点から総合的に考察することを目的とする。また本共同研究は、本学大学院・芸術研究科・カリキュラムに〈プロジェクト研究〉研究課題として組み込まれ、教員・院生が一体となって研究するという新しい教育研究方法の試みであると共に、研究の経過ならびに成果を同時に学内外に向けて積極的に情報発信するものである。

本共同研究は3年計画からなっており、本年度はその2年度であった。そのために教員(8名)と大学院生(修士課程4名、博士課程2名)からなるプロジェクトチームが組織され、毎週金曜日5時限に研究会が開かれた。そして、次の三つの見地からカストリ雑誌の調査・研究を進めた。

1)、週間読物誌、風俗誌などにおける「カストリ雑誌」の在り様や、文芸誌、一般文化誌などと「カストリ雑誌」との関係を調査研究し、さらにはこれらに掲載された文芸作品や挿絵を調査研究し、占領下における芸術家たちの活動を考察した。

2)、音楽・舞踏・演劇・映画に関する雑誌群における「カストリ雑誌」の在り様について調査研究し、占領期の大衆文化の実相について考察を深めた。

3)、美術・工芸・建築・写真・デザインに関する専門雑誌群と「カストリ雑誌」との関係を調査研究し、占領期の美術とデザインの動向について考察を深めた。

その際上記いずれの場合にも、米国メリーランド大学所蔵「ブラング文庫雑誌コレクション」(1945～49年に日本で出版されたほぼ全ての雑誌を取録)マイクロ・フィッシュ版の「一般誌部門、芸術・言語・文学部門、小冊子分類70番」(本学図書館所蔵)と、初年度に購入したカストリ雑誌関係書誌(20冊)およびカストリ雑誌(411冊)の調査・研究を深めるとともに、さらにその周辺雑誌を含むカストリ雑誌(538冊)(添付図参照)と関連資料を調査し購入

した。また、彫刻家森口宏一氏を招いて特別講義（7月7日）を開催し、終戦直後の関西圏のカストリ雑誌の動静について聞き取り調査を行った。さらにまた、「カストリ雑誌」研究のデータ・ベースの構築を推進した。

そしてその成果の一端を、「草創期のカストリ雑誌とグラフィック表現」と題して意匠学会デザイン史分科会第1回研究会（大阪芸術大学／2006年9月9日）で報告した。

さらには本年度の研究成果に関して、以下の研究グループ課題に基づいて、研究報告書を作成した。

- (1) 山縣グループ 1、カストリ雑誌に見られる性表現の諸相 2、カストリ雑誌とジェンダー  
3、カストリ雑誌のタイトル 4、戦時文化と戦後文化 5、カストリ雑誌の社会文化史的位  
置 6、戦後民主主義とカストリ雑誌
- (2) 藪グループ 1、カストリ雑誌におけるタイポグラフィック・デザインの変容  
2、カストリ雑誌の表紙デザイン 3、カストリ雑誌の書誌一覧
- (3) 井関グループ 1、カストリ雑誌における広告とその表現法
- (4) 田中グループ 1、カストリ雑誌における外国文化の受容 2、カストリ雑誌の挿  
絵  
3、カストリ雑誌とアヴァンギャルド
- (5) 豊原グループ 1、カストリ雑誌における映画・写真
- (6) 出口グループ 1、カストリ雑誌における演劇
- (7) 月溪グループ 1、音楽関係の問題
- (8) 松井グループ 1、現代版カストリ雑誌の制作 2、カストリ雑誌とファッション



アベック社 昭和24年12月



佐田書房 昭和23年4月



創世社 昭和24年



創文社 昭和24年12月



曙書房 昭和26年10月



蓬書房 昭和22年11月



くいーん編集部 昭和22年8月



大衆社 昭和24年11月



漫画書院 昭和22年4月